

長野県母親大会 佐久で開催

母親が変われば社会が変わる

第59回長野県母親大会が9月18日（日）に佐久市で開

かれ、大北地域からマイクロバス2台で参加しました。午前中は佐久平交流センターでの「意見発表」と4つの「見学分科会」があり、午後は全体会と記念講演が行われました。

私は見学分科会「丸岡秀子さんの故郷を訪ねて」に参加しました。

丸岡さんは南佐久郡白田町（現・佐久市）出身。政治家の井出源一太郎、医学者の井出源四郎、作家の井出孫六各氏は実弟です。

戦後、農村婦人協会を組織し日本教職員組合の教研集会や全国婦人教員研究協議会の講師を務め、1955年、日本母親大会開催を実現しそこで「母親が変われば社会が変わる」のスローガンを提言しました。

「今日から夫を主人と呼ばないようになります」と言つて喝采あびたのも母親大会の席上だったそうです。

「香りのお手玉」をハーブの町から発信



玉作り
での一場面です。



2年
前ウオ

「あ、ラベンダーの匂いだわ」とお手玉を鼻にこすり付けクンクンして下投げながら大声をあげていた小学生。

「これはいいアイデアだわ」と作つたお手玉を鼻にこすり付けクンクンして下投げながら大声をあげていた小学生。

先月開催された、てるてる坊主アート展のイベント会場で行つた「香りのお手玉」

「あ、ラベンダーの匂いだわ」とお手玉を鼻にこすり付けクンクンして下投げながら大声をあげていた小学生。

大豆 50g



ラベンダー
④スパンコール

大布 (縫い縫い)

お手玉は最近大流行で高齢者の脳トレとして介護予



大町駅近くでアピール行動

日本共産党池田ファンクラブ主催 マレットゴルフ大会

日時 10月26日（水）
午前8時半集合
午前9時 競技開始
会費 500円（昼食代含む）

競技終了後、林中の多目的研修センターで表彰と昼食会を行います。



赤旗信州 秋まつり

日時 10月9日（日）やまびこドーム
マイクロバスが出ます。
午前8時半 池田町役場出発
参加協力券 1,200円（バス代を含む）
記念講演 田村智子副委員長
杉尾ひでや、井上さとし、たけだ良介、
藤野やすみ各国会議員がお話しします。
フリーマーケット、夢の抽選会もあります。



戦争法に反対する

大北市民有志の会

校保存会会長）から熱のこもった説明をお聞きしました。次に向かつた公園の碑には「読むこと、書くこと、行うこと」と刻まれており、その前で佐々木都さんから「丸岡秀子の生きざま」などのお話を伺いました。

小林さんも佐々木さんも88歳のことですがとてもお元気で、来訪者にお話ししているのが良く分かりました。

午後の全体会では、文化行事や記念講演がありました。辺野古基金共同代表の

9月議会一般質問傍聴記

町議会9月定例会一般質問が15・16日行われ、9名の議員が町の身近な問題を中心取り上げました。

15日服部久子議員の質問の中で、議会運営について

13日開かれた予算決算特別委員会に置いて、町民から強い要望が出されていた

児童センターの開館時間繰り上げ（現在朝8時であるが、子供の居場所確保のため7時30分にしてほしい）

について教育委員会より「指導員が確保できれば、持続することが特徴です。

防に利用され、こどもたちの手指の筋トレとしても使われています。ラベンダーは振ることで何年も香りが持続することができます。

9月19日戦争法強行成立から1年、「廃止するまで闘おう」「憲法を守ろう」「市民と野党は共闘」と、全国各地の四百数十カ所で、集会やデモなどさまざまな行動が行われました。

この町は「ハーブの町」です。いろいろな工夫をしながら町を宣伝できたらいいですね。

3丁目 薄井百子

「廃止するまであきらめない」と行動

国会正門前では共産党志位委員長はじめ民進党、社民党、生活の党代表が勢揃いし、スピーチしました。

参院選で野党統一候補の杉尾ひでやさんを、当選させた力となつた大北市民有志の会は、大町駅入口交差点で大町、池田、松川、白馬、小谷の仲間が降りしきる雨の中、リレートークやシユブレヒコールで行き交う車、市民に訴えました。

色とりどりの幟旗、手作りのプラカードなどでアピールした行動には、85名が参加しました。

菅原文子さん（故菅原文太氏の夫人）が「平和の種を広げるために今伝えたいこと」と題して講演しました。

3丁目 山本久子

の質問を制限することではありません。今回のように通告から質問日までの問題は、一切取り上げられない事になります。

町側としては答えられる回答がありました。

服部議員は「2日前のこ

となので質問通告にはない

が、委員会の回答を本会議で確認したい」と質問、議

長は「当局はどうしますか」と町に投げかけ、教育

課長は「質問通告にはない

ので回答しない」とのことでした。

そもそも質問通告は、限られた議事時間を効率よく進めるものであつて、議員

の質問を制限することではあります。

内容は、積極的に答えるべきです。議員の一人は議席で、手を大きくバツテン

と、議長に「取り上げる

か」と町に投げかけ、教育

課長は「質問通告にはない

ので回答しない」とのことでした。

そもそも質問通告は、限られた議事時間を効率よく進めるものであつて、議員

の質問を制限することではあります。

由闘達に議論し合い、町民のための町政を推進してほしいものです。

中島 牛越邦夫